

おける広報活動についての効果的な推進方法を研究協議し、教育行政広報の充実に資する。

- ② 期 日 昭和55年10月28日(火)
- ③ 会 場 南郷開発総合センター（南会津郡南郷村）
- ④ 参 加 者
南会津管内市町村教育委員会事務局及び公民館職員・各種団体のリーダー等37名
主催者側（本庁・南会津教育事務所）6名
- ⑤ 内 容
- 講演 「魅力ある広報紙(誌)」
講師 福島民報社役員待遇総務局長 羽田 孝夫
 - 演習 「広報紙(誌)のできるまで」
福島県教育庁総務課管理主事 佐藤 英昭
「広報文書(体)の基礎」
福島県教育庁総務課管理主事 古市 孝雄
 - まとめ
福島県教育庁総務課主幹 松川 昭三
同 広報係長 金田 浩一

(2) 昭和55年度東北地区広報研究協議会

- ① 主 催 文部省・青森県教育委員会
- ② 日 時 昭和55年8月28日(木)・29日(金)
- ③ 場 所 地方職員共済組合岩木保養所「あすなろ荘」（青森県中津軽郡岩木町）
- ④ 内 容
- 講演 「文教行政の当面する課題」
文部省大臣官房総務課広報室
課長補佐 佐野 英孝
 - 講義 「タウン誌と行政広報」
北の街社代表 斎藤セツ子
「企業広報にみる」
電通青森支局長 石川 昌平
 - 実例発表
「親しめる誌面作りを目指して」
青森県蟹田町役場 柳谷 隆男
「行政広報を担う公民館報」
青森県藤崎町公民館社教主事 小笠原睦男
 - 協議・情報交換
- ⑤ 参 加 者
東北6県の教育委員会関係者、並びに市町村教育委員会の関係者73名が出席した。
本県からは、県教育庁総務課から1名、市町村教育委員会事務局から6名が出席した。

11 県政広報との提携

(1) テレビ

- FTV 「茶の間の県政」（毎日曜日8：00～8：25）
8月10日 活躍するみどりの少年団
11月2日 県政第一線シリーズ
一郎先生と自転車
11月9日 県文化功労者に聞く
毎月4週 あさの広場
(お母さんコーラスの出演)

- FCT 「こんにちはふくしま」(毎日曜日11：30～11：50)
4月16日 教育委員長にきく
5月18日 ふくしまの若者はいま
— 地域の文化を自分たちの手で —
8月17日 ふくしまの若者はいま
— スポーツで鍛える —
11月9日 養護学校に学ぶ
2月15日 伸びしろ/福島っ子
友だち

(2) ラジオ

- RFC 「みなさんとともに」(毎土曜日9：25～9：40)
6月7日 まちをきれいに
— みどりの少年団を訪ねて —
6月28日 亜欧堂田善
7月19日 もうすぐ夏休み
8月19日 知事さんこんにちは
— 教育次長にきく —
10月18日 土に親しむ
— 相馬市桜丘小学児童園 —
1月3日 ふくしまの祝い歌
3月21日 もうすぐ一年生

(3) 新聞・その他

福島民報（5月18日ゆとりある教育、10月14日文化財を守ろう）、福島民友（1月18日明日を担う青少年をはぐくむ）、いわき民報、あいつ毎夕、月刊ふくしま、福島自治等の紙上に、教育に関する事項を随時掲載し広報した。

第6節 調査統計

昭和55年度において実施した調査統計事業は、次のとおりである。

1 学校統計要覧の刊行

昭和55年5月1日現在で調査した学校基本調査（指定統計第13号）の調査結果により、県内の国立・公立・私立の小学校、中学校、高等学校、盲・聾・養護学校、幼稚園、専修学校及び各種学校の学校数、学級数、児童・生徒数及び教職員数等の基本的事項を収録した学校統計要覧を刊行して、本県の教育行政上の基礎資料として広くその活用を図った。

2 地方教育行財政調査

この調査は、昭和54会計年度において、教育費がどのような財源から支出され、どのように使われているか、また、昭和55年5月1日現在における教育委員会の類型・組織及び教育機関数等の実態を調査し、教育行政等に関する諸施策の資料にすることを目的としている。

また、この調査の結果については、報告書を刊行して、教育水準の向上と教育諸施策樹立のための資料として広く活用を図ったが、結果の概要は次のとおりである。

(1) 地方教育費の調査

- ① 総教育費
学校教育、社会教育及び教育行政に支出した総教育費